

令和2年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部
鹿児島県知事 優秀賞

「 自然から身を守る 」

鹿児島県 喜界町立喜界中学校 3年 体^{たい}箇^が 大^{だい}地^ち

地震、津波、高潮、台風、豪雨。自然の力は計り知れません。そして、私たち人間の力ではどうすることもできません。自然は容赦なく私たちを襲ってきます。このような自然の力によって、人間の社会生活や人命に受ける被害を自然災害といいます。自然災害は、一瞬にして多くのものを奪い去っていきます。土砂災害も、そんな自然災害の一つです。土砂災害は、大雨などが引き金となって、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることで起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となって起こる土砂災害もあります。

先日、起こった熊本豪雨や、2014年8月に起こった広島豪雨でも、多くの人が土砂災害によって命を落としました。災害というものは、人の命や生活を奪っていくとともに生き残った人々の心も奪っていきます。

では、そんな土砂災害には、具体的にどのようなものがあるのでしょうか。土砂災害には、主に4つのものがあります。

1つ目は、急な斜面が崩れてくるがけ崩れです。がけ崩れは大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもあります。また、雨が止んだ後に起こることもあるため、雨が止んでも数時間は注意しなければなりません。

2つ目は、山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる土石流です。土石流は、速いときには時速40キロ以上にもなり、大きな岩をも流してしまいます。

3つ目は、やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く地すべりです。家や田畑といっしょに大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともあります。

4つ目は、崩れた土砂が川をせきとめる河道閉塞です。地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止めます。土砂ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかかります。土砂ダムはやがて、たまった水の力で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せます。

このように見てみると、大雨という1つの自然現象から、たくさんの災害が起こることが分かります。私たちは、これらの土砂災害から命を守らなければなりません。

土砂災害防止のために、国は、さまざまなことをしています。例えば、がけ崩れを防ぐために、法枠工というコンクリートの枠で斜面をおさえたり、土石流がまちへ流れこむのを防ぐために、砂防堰堤というコンクリートの仕切り壁のようなもので土砂をせき止めたりするなどの対策工事を行っています。しかし、これらの対策だけでは、防止することができない場合もあるので、私たち自身の対策も必要になってきます。

まず、自分が住んでいる地域をよく知ることです。どこが危険でどこが安全なのかをハザードマップなどを見て確認しておき、それを踏まえて、避難する場所を家族であらかじめ決めておくことが大切です。

次に、情報を集めることです。大雨などが起こったときには、今、どんな状況なのか、避難した方が良いのかなどを、メディアを利用して知ることが大切です。

最後に、もしかすると危険かもしれないと思ったときには、早めに避難しておくことです。起ってからではもう遅いです。少しでも危険を感じたときは、すぐに避難をすることが大切です。

自然の力は、私たちの力ではどうすることもできません。しかし、私たちはそんな自然から命を守らなければなりません。日頃から「準備」をしっかりと、自分の命は自分で守っていきたいと思います。